

## 第1回小牧市民病院改革プラン評価委員会会議録

1 開催日時 平成22年11月5日(金)  
午後3時00分～午後3時20分

2 開催場所 小牧市民病院 8階 大会議室

3 出席者(委員9名のうち6名出席)

(委員長)	小牧市社会福祉協議会会長	勝野 義久
(委員)	小牧市医師会会長	船橋 重喜
	小牧市医師会副会長	友松 武
	春日井保健所長	宮澤 孝彦
	名古屋造形大学教授(保健体育)	斎藤 由美
	中部大学経営情報学部准教授	仁川 栄寿

(事務局)病院長、市総務部長、市民病院事務局長、市総務部次長、  
市民病院事務局次長、市財政課長、市民病院総務課長

4 議題 (1)委員長の選出について  
(2)平成21年度小牧市民病院改革プラン決算比較について

5 会議資料 平成21年度小牧市民病院改革プラン決算比較

6 議事内容

- (1) 総務部長あいさつ
- (2) 病院長あいさつ
- (3) 委員長の選出について

自薦、他薦がなかったため、事務局より小牧市社会福祉協議会会長の勝野氏を委員長に推薦し、了承。

ここからは、委員長による議事進行。

[ ]は発言者

[委員長]

- ・ 委員長の職務代理者に小牧市民病院改革プラン評価委員会設置要綱第4条第3項により、小牧市医師会長の船橋氏を指名。了承。
- ・ 評価委員会を公開の会議とすることについて提案。了承。

#### (4) 平成21年度小牧市民病院改革プラン決算比較について

[財政課長]

資料説明

- ・ 入院収益について・・・計画 100 億 9,800 万円に対して、決算 105 億 7,200 万円で達成度 104.7%。
- ・ 入院患者数について・・・計画 19 万 4,200 人に対して、決算 18 万 7,370 人で達成度 96.5%。
- ・ 病床利用率について・・・計画 97.8%に対して 94.4%で達成度 96.5%。
- ・ 平均在院日数について・・・これは低いほうが効率的であるが、計画 12.0 日に対して 11.7 日に改善された。
- ・ 入院患者数、病床利用率については目標に達せず。
- ・ 外来収益について・・・目標 55 億 3,800 万円に対して、決算 58 億 500 万円で達成度 104.8%。
- ・ 外来患者数について・・・目標 45 万 240 人に対して、決算 43 万 5,775 人で達成度 96.8%。
- ・ 資金運用について・・・今後とも安全性を重視しながら適切に管理運用していく。
- ・ 診療報酬請求について・・・DPC分析を外部にも委託し、精度の高い診療報酬請求ができた。
- ・ 未収金対策について・・・早い段階で督促を行うなど、早期対応に努めた。
- ・ 経費節減、抑制対策について・・・委託費等について仕様の見直しや単価交渉などサービスの低下を招かないという前提で、できるコスト削減に努めた。
- ・ 経常収支比率について・・・計画 98.7%に対して決算 104.5%。
- ・ 医業収支比率について・・・計画 96.4%に対して決算 102.0%で大きく改善することができた。
- ・ 職員給与費対医業収益比率について・・・計画 45.8%に対して 42.6%。
- ・ 純損益について・・・プランでは最終年度の 23 年度に黒字化と設定していたが、1 年で達成できた格好になった。

- ・平成22年度以降についても、引き続きサービスの低下を招くことなく、効率的な病院経営を市と病院が一体となって推進していく。

〔委員〕

収支計画において、実績値と計画値の乖離について

- ・収入面については、不確定要素も多いので、伸びていることは単純にいいことだと思われる。
- ・職員給与費が97.4%、減価償却費が98.2%に抑えられているが、これらについては、計画段階で正確な数字がだせるはずなので、低く抑えられた要因は何か。

〔市民病院総務課長〕

- ・給与費の見積誤差は、看護師の途中退職、医師の異動等によるもの。
- ・減価償却費は、計画策定後の購入予定医療機器の変更や入札による減額の影響である。
- ・計画は、予算額で減価償却費を算出しているため。

〔病院長〕

- ・通常は病院の建物建築費の減価償却費が大きなウェイトを占めるが、小牧市民病院はそれに加えて、いい医療機器を多く導入しているため減価償却費が多い。これは、市民病院を利用する患者さんのためにもなるし、職員のモチベーションにもつながっている。
- ・最先端の医療機器の購入が日本でもトップクラスであり、機器そのものが高額であるため入札等で生じる計画との誤差は御理解をお願いしたい。

〔委員〕

- ・小牧市民病院は災害拠点、がん診療拠点等の役割を担っており、地域医療にとって重要な位置づけである。経営的にも優秀であり評価できる。

〔委員長〕

総括

- ・平成21年度については、改革プランの目標値を大きく上回りこの一年の市民病院の取り組みについては、評価ができる。

- ・ 公立病院を取り巻く状況は依然として厳しいため、次年度以降についても、市民が誇れる小牧市民病院となるべく引き続き努力をお願いしたい。
- ・ 今後ともさらに地元医療機関との連携を図り、小牧市の医療機関全体のレベルアップをお願いしたい。

## 7 その他

〔財政課長〕

- ・ 本日の委員会の内容については、事務局としてとりまとめ、それをこの委員会の評価という位置づけをし、市のホームページ等で公表したい。了承。